

人的資本経営研究会 第5回ワークショップの開催

開示トライアル
準備

開示トライアル
実施

振り返り
改善点検討

会員企業の皆様に、**次年度にレポート作成を取組むためのヒントを得てもらうこと**を目的として、主に令和6年度作成されたレポートを紹介しながら、事務局として本取組を総括した。

* 人的資本経営とは、**人材を「資本」として捉え**、その価値を最大限に引き出すことで、**中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方**のこと

概要

本研究会では、人的資本経営導入支援の一環かつ年間の大きな取組として、人的資本開示レポートの作成・開示を行った。

当該取組に至った経緯

- 広島県の就業者数や平均労働時間が減少していく長期的な流れの中で、県内企業にとっては、労働生産性の向上が重要な経営課題である。
- こうした背景があり、労働生産性、ひいては企業価値の向上に繋がる取組の一つとして人的資本経営の導入を商工労働局人的資本経営促進課が中心となり支援している。[第4回ワークショップの活動記録](#)

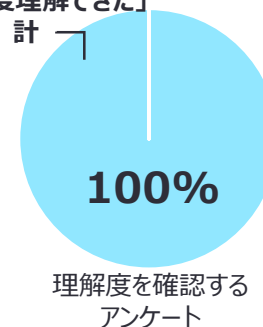
第5回目ワークショップの内容

- ① 人的資本開示レポート作成会員と内容の紹介
今年度作成された実際のレポートを用いながら、各レポートのターゲットや作成体制、レポートの特徴を説明。
- ② 事務局からの総括
レポート作成会員に対して事前にヒアリングした“レポート作成で得られた気づき”を整理して、ワークショップ参加者へ提示・説明。レポートを作成することが目的でなく、人的資本経営を推進するための手段でしかないことを改めて説明。
- ③ 伊藤先生との本取組振り返り
本取組の振り返りを対話形式で実施。レポート作成企業と伊藤先生との対話のなかで、“中堅・中小企業は人的資本経営の『浸透』が見えやすい”と本取組の総合的コメントを伊藤先生より受領。

取組の成果

- 「あまり理解できなかった」という回答は無く、参加者の方には今回のワークショップ内容を理解いただいた。
- ワークショップの最初に本取組の目的を振り返ったうえで、具体的なレポートを示しながら本取組を総括したため、どの参加者も理解が進んだと思われる。

「よく理解できた」
「ある程度理解できた」
計



ワークショップの様子



38社 56名が参加
(現地とオンライン合計)

今後の予定

- 令和7年度についても本取組の活動は継続予定。
- 令和7年度ワークショップ開催日などの詳細は、5月頃に、改めて事務局よりホームページなどを通じて公開予定。